

第2期基本計画各論(案)に対する市議会総合計画特別委員会からの意見・対応一覧

【特別委員会からの意見】

No.	施策番号	基本的施策・経営的施策	該当項目	番号	意見	担当課	対応	意見に対する考え方	修正前	修正後
1	1	市民自治活動・学び	施策の主な方向性	(1) ①	「市民自治協議会を継続発展させ」とあるが、現状と課題に市民自治協議会についての記載がないのでわかりにくい。	地域コミュニティ推進課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■現状 記載なし ■主な課題 記載なし	■現状 ①市民自治協議会や同準備会に対して、財政的・人的支援を行い、立ち上げや継続的な運営への支援を行っています。 ■主な課題 ①地域住民の市民自治協議会に対する理解や関心が低いため、同協議会の仕組みや必要性を知ってもらう機会をつくる必要があります。
2	1	市民自治活動・学び	施策の主な方向性	(1) ②	「BASE生駒」も固有名詞であり、具体的な事業は事業調書に委ねるべきである。また、本来NPO活動と地域とがつながる拠点こそが市民自治協議会であったはずである。「コミュニティ」と「アソシエーション」、それぞれを縦糸と横糸として織りなされる組織の3分類の整理ができているのか。	地域コミュニティ推進課 市民活動推進センター	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。 なお、BASE生駒は地域活動に想いを持った個人などが集まり、人と人が繋がることで、新たな活動を生み出すことを目的としています。市民自治協議会は小学校区での広域的な地域課題を解決することを目的に団体理念に基づいて行動しています。したがって、それぞれの整理は出来ているものと考えています。	■施策の主な方向性 (1)持続可能な身近なコミュニティづくり ②様々な分野における市民活動の展開 NPO等の市民活動が円滑に行われるよう地域とのつながりを支援し、「BASE生駒」の取組を通じて、新たな活動者を発掘するなど伴走支援を行います。	■施策の主な方向性 (1)持続可能な身近なコミュニティづくり ②様々な分野における市民活動の展開 持続可能なコミュニティづくりに向けて、市民活動につながる多様な人や団体を発掘するとともに、交流等を通じた活動に対する伴走支援を行います。
3	1	市民自治活動・学び	施策の主な方向性	(1) ②	「BASE生駒」の取組を通じて という表記は不要ではないか。	市民活動推進センター	修正	No.2と同じ		
4	1	市民自治活動・学び	施策の主な方向性	(3) ①	「歴史文化に関心を持ち、学ぶこと」が「生駒の未来について考える機会」となるという因果関係が分からない。また、このように施策に記述するのであれば、「主な課題」欄にも関連記述があつてしかるべきである。また「生駒の未来」の「未来」とは具体的にどのようなことか。漠然とした表現は避けるべき。	生涯学習課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。 郷土の歴史文化を学ぶことは、まちの今や将来を考えることにもつながり、先人が創り上げ残してくれた大切な郷土を未来にもつないでいきたいとの思いで記載しております。その趣旨がより伝わるよう一部表現を改めます。	■施策の主な方向性 (3)①歴史文化を通じた郷土愛の醸成 多世代の市民が郷土の歴史文化に関心を持ち、学ぶことを通じて郷土への愛着を高め、生駒の未来について考える機会を提供するとともに、文化財等の保存活用を行います。	■施策の主な方向性 (3)①歴史文化を通じた郷土愛の醸成 多世代の市民が本市の歴史文化に関心を持ち、学ぶことを通じて郷土への愛着を高め、郷土を未来に引き継ぐ大切さについて考えられるよう、学びの機会の充実や文化財等の保存活用を進めます。
5	1	市民自治活動・学び	施策の主な方向性	(3) ②	「音楽のまち生駒」とは具体的にどのように音楽がどうなっていることをいうのか、具体的に記述すべき。	生涯学習課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。 本市は吹奏楽が盛んで子どもから大人まで吹奏楽に親しむ環境があります。また、吹奏楽事業をはじめ、市民みんなで創る音楽祭やリパラルコンサートなど、市民との協働による音楽事業を進めております。 このことを踏まえ、「音楽のまち生駒」とは、市民との協働により音楽文化の裾野を広げ、企画する、鑑賞する、演奏するなどさまざまな関わり方で音楽に親しむ市民が増えることを目指すもので、主旨を加筆いたします。	■施策の主な方向性 (3)②文化芸術を通じた市民の活躍とまちの活力の創出 文化芸術活動に親しむ市民を増やすとともに、「音楽のまち生駒」の推進を図ります。	■施策の主な方向性 (3)②文化芸術を通じた市民の活躍とまちの活力の創出 文化芸術活動に親しむ市民を増やすとともに、市民との協働で音楽文化の裾野を広げることにより、「音楽のまち生駒」の推進を図ります。
6	1	市民自治活動・学び	主な課題		「市民活動創発プラットフォーム」または愛称である「BASE生駒」のどちらかにすべき。	市民活動推進センター	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	-	■現状(取組成果) ■主な課題 「市民活動創発プラットフォーム」という表記に統一

No.	施策番号	基本的施策・経営的施策	該当項目	番号	意見	担当課	対応	意見に対する考え方	修正前	修正後
7	2	人権・多文化共生	令和9年度末にめざす状態(施策目標)		施策目標の「尊重されていると実感できている」と参考資料「施策の進捗状況を測る代表的な指標」のI「人権感覚を身につけている」とが合っていない。指標に合わせるのであれば、自身が「尊重されている」ではなく自身が他者を「尊重している」あるいは「理解している」となる。「尊重し」、「尊重される」、そのどちらも追求されるべきなので、「自他が互いの違いを認め合い、尊重し、支えあえる人が増えている」など、双方向の認識、行動と捉えられる表現にできないか。	人権施策課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■令和9年度末にめざす状態(施策目標) 一人一人が尊重されていると実感できている	■令和9年度末にめざす状態(施策目標) 互いの個性を認め合い、尊重し、支え合う市民が増えている
8	2	人権・多文化共生	施策の主な方向性	(1) ①	研修(教育)は職員だけでなく、市民にも必要ではないか。「市民への人権教育・啓発とともに職員への研修を実施します。」	人権施策課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■施策の主な方向性 (1)①人権教育・啓発の推進 人権について正しい知識や情報を持つよう、市民への啓発と職員への研修を推進します。	■施策の主な方向性 (1)①人権教育・啓発の推進 人権について正しい知識や情報を持つよう、市民への人権教育・啓発とともに、職員への研修を推進します。
9	2	人権・多文化共生	施策の主な方向性	(3) ②	・「女性相談の充実」及び「女性がジェンダーにとらわれずに」という部分。 「女性がジェンダーにとらわれずに」とあるがここでのジェンダーの使い方が少し違うように思う。「女性が」とつくことで逆にとらわれているように感じる。生駒市でも男性からの相談が少数だが、実績としてある。相談件数が少ないのはまだまだ認知周知がされていないからではないかと思う。女性は女性の相談支援員さんというのはそのままでもいい取り組みだと思うが、男性も悩みのある方はおられるので、相談したい男性が、基本計画のこのような表記をみると、生駒市では男性の相談を受け付けていないように感じるため、相談をすることをためらう原因となり、潜在的な相談者が隠れてしまう。男女共同参画の推進であるならば、男性と女性の公平性を確保する考え方として「女性相談の充実」だけではなく、「男性相談の充実」も推進すべき。	男女共同参画プラザ	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■施策の主な方向性 (3)②女性相談の充実 女性がジェンダーにとらわれずに、自分らしい選択や決定をしていけるよう相談事業を実施し、男女共同参画社会の実現に向け取り組みます。	■施策の主な方向性 (3)②相談事業等の充実 誰もがジェンダーにとらわれずに、自分らしい選択や決定をしていけるよう、相談事業の実施等によって、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みます。
10	2	人権・多文化共生	現状(取組成果)		令和4年度の総合計画の進行管理検証報告書には次期計画に向けた今後の方向性として「ハラスメントをテーマとした市民集会の開催」とあり、実際に令和5年度にはハラスメントに関する講演会が開催されている。現状の取組とともに、主な課題にも重大な人権侵害であるハラスメントやDVに関する記述をすべき。	人権施策課 男女共同参画プラザ	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。 継続的に取り組んでいる人権教育・啓発について、「現状」と「課題」について記載がなかったことから、ハラスメントやDVも含めた表現で修正しました。	■現状(取組成果) 記載なし ■主な課題 記載なし ・男女共同参画の推進に向けて、相談内容の傾向を分析し、啓発講座のテーマを決定する等、～	■現状(取組成果) ①ハラスメントやインターネット等による人権侵害、性的マイノリティへの偏見や差別等、多様な人権問題に対応するため、様々な課題をテーマとして市民集会や講演会等の人権教育・啓発を実施し、人権尊重のまちづくりを推進しています。 ■主な課題 ①人権問題は多岐にわたり、また急激に変化する社会的背景を踏まえて取り組む必要があります。このため、従来からの問題に加え、新たな問題にも対応した人権教育・啓発が求められます。 ⑥男女共同参画推進に向けて、相談内容の傾向を分析し、DV防止や女性活躍等、多岐にわたるテーマについて、啓発講座の内容を決定する等、～
11	3	子ども・子育て支援	令和9年度末にめざす状態(施策目標)		審議会意見で豊かで、を追記すべきとあるが、施策の主な方向性の中でも、(1)の①で豊かな体験活動、③で豊かな経験と記載されているので、「豊かで」を追記すべき。	健康課 障がい福祉課 幼保こども園課 こども総務課 子育て支援総合センター こどもサポートセンター 生涯学習課 スポーツ振興課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■令和9年度末にめざす状態(施策目標) 子どもたちの健やかな成長のための環境が整っている	■令和9年度末にめざす状態(施策目標) 子どもたちの豊かで健やかな成長のための環境が整っている
12	3	子ども・子育て支援	施策の主な方向性	(1) ③	(1)③安全で健やかな活動場所の充実、とあるが、「健やかな活動場所」及び「健やかに活動できる場所」という表現に違和感を覚えるため、別の表現とすべきではないか。	こども総務課 スポーツ振興課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■施策の主な方向性 (1)③安全で健やかな活動場所の充実	■施策の主な方向性 (1)③安全で豊かな経験の場の充実
13	3	子ども・子育て支援	施策の主な方向性	(2) ③	「困難を抱える家庭に対して一体的な支援を行います」とあるが何と「一体的」に支援するのかわからない。	健康課 子育て支援総合センター こどもサポートセンター	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■施策の主な方向性 (2)③子どもの健やかな育ちへの支援 ～早期の発見・治療・療育につなげます。困難を抱える家庭に対して一体的な支援を行います。	■施策の主な方向性 (2)③子どもの健やかな育ちへの支援 ～早期の発見・治療・療育につなげます。困難を抱える家庭に対して、サポートプランを作成する等、一体的な支援を行います。
14	3	子ども・子育て支援	市民や事業者ができることの主な取組イメージ		「子ども・子育て支援」の施策なので、地域で子育てを支えることも大事だが、子どもを守ることも大切で、虐待、または虐待が疑われる案件については関係機関に通報することは市民の義務であるので書き込むべき。	子育て支援総合センター こどもサポートセンター	原案どおり	ご意見の内容は、原案の「地域住民も妊娠・出産・子育てに関心を持ち、積極的にサポートする。」において包含していることから、原案のままとします。	-	-
15	3	子ども・子育て支援	現状(取組成果)		施策の主な方向性には「妊娠・出産」の支援にも触れている((2)①)にも関わらず、マタニティコンシェルジュなど産前の支援の取組成果に触れていない。(課題も同じ。)	健康課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■現状(取組成果) 記載なし	■現状(取組成果) ⑥妊産婦等が必要な支援を受けられるよう、マタニティコンシェルジュを配置し、情報提供、助言、保健指導等を行っています。
16	3	子ども・子育て支援	現状(取組成果)		4番目の項目 学童施設を学童保育施設もしくは学童保育の正式名称への変更を要望する。	こども総務課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■現状(取組成果) ・学童施設の修繕や改修を～	■現状(取組成果) ④学童保育施設の修繕や改修を～
17	3	子ども・子育て支援	現状(取組成果)		・産後うつや虐待防止に対して健康課とこどもサポートセンターゆうとの連携や臨床心理士を交えた対応などを入れるべき。健やかな子どもの成長を支援する意味では子どもサポートセンターゆうが行っているトリプルPなどの実践も入れるべき。	子育て支援総合センター こどもサポートセンター	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■現状(取組成果) 記載なし	■現状(取組成果) ⑫家庭児童相談室事業の実施を通して、子育てや家庭での心配等を相談する機会を提供しています。

No.	施策番号	基本的施策・経営的施策	該当項目	番号	意見	担当課	対応	意見に対する考え方	修正前	修正後
18	3	子ども・子育て支援	主な課題		ファミリーサポートの援助会員の担い手が確保できない原因分析は行っているのか。子どもの命を預かるのに1時間600円でいいのか。行政も保護者の負担分に乗せることが必要ではないか。非課税世帯へは保護者に補助を出して利用しやすくすることも必要。課題に挙げるとすれば「確保が課題です。」ではなく、「確保に向けた分析と対応が必要で	子育て支援総合センター	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■主な課題 ・ファミリー・サポート事業の拡大・継続に向けては、援助会員の担い手の確保が課題です。	■主な課題 ⑨ファミリー・サポート事業の拡大・継続に向けては、多様化・高度化するニーズ及び援助会員の確保に向けた分析と対応が必要です。
19	3	子ども・子育て支援	主な課題		・産後ケア事業において、受け入れ施設の拡充も当然大事だが、専門職による自宅での支援事業アウトリーチが必要と考える。産産・死産を経験した方は、母子と一緒にケアを受けている場所で、ケアを受けるのは難しいことから、施設の拡充とともに、アウトリーチでのケアを希望される方々のために、人の確保も進めていくべき。	健康課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■主な課題 ・産後ケア事業において、利用希望者の増加に伴う受け入れ施設の更なる拡充が課題です。	■主な課題 ⑦産後ケア事業において、利用希望者の増加に伴う受入施設の更なる拡充及び多様なニーズに対応するため、居宅訪問型の創出が必要です。
20	4	学校教育	施策の主な方向性		学ぶ姿勢や学ぶ場所、学び方がどうであれ、学校教育の目的として基礎学力の保障と基本的生活習慣の育成は外せない。第一に書き込むべきではないか。	教育指導課 教育政策室	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■施策の主な方向性 (1)①子どもたちを主体とした新たな学びの創出 主体的に行動する力、～	■施策の主な方向性 (1)①子どもたちを主体とした新たな学びの創出 すべての子どもたちの権利を尊重し、各学校段階に応じた一定の学力を身につけることに加え、主体的に行動する力、～
21	4	学校教育	施策の主な方向性	(1)	① 子どもたちを主体とした、と言うのであれば、「こどもの権利尊重」を明記すべきである。	教育指導課 教育政策室	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■施策の主な方向性 (1)①子どもたちを主体とした新たな学びの創出 記載なし	No.20と同じ
22	4	学校教育	施策の主な方向性	(1)	② 「態度を育成します」という表記に違和感を覚える。「多様性を認めあい、自他ともに大切に、行動できる態度を育成します。」⇒教育基本法の表記に基づくならば「態度を養います。」とすべき。	教育指導課 教育政策室	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■施策の主な方向性 (1)②多様性を認識・尊重し行動できる態度の育成 ～自他ともに大切に、行動できる態度を養成します。	■施策の主な方向性 (1)②多様性を認識・尊重し行動できる態度の養成 ～自他ともに大切に、行動できる態度を養います。
23	4	学校教育	施策の主な方向性	(2)	① 「教職員にとって」の「楽しい」は、「子どもたち」にとっての「楽しい」とは異質であると思われる、並列することに違和感がある。「教職員」を削除すべき。	教育指導課 教育政策室	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■施策の主な方向性 (2)①学校運営体制の整備 教職員の働き方改革、なり手不足解消の取組を進めながら、子どもたち・教職員にとって学校がより楽しく感じられるよう、～	■施策の主な方向性 (2)①学校運営体制の整備 教職員の働き方改革、なり手不足解消の取組を進めながら、学校が子どもたちにとってより楽しく、教職員にとってより本務に専念できる働きがいのある場となるよう、～
24	4	学校教育	施策の主な方向性	(2)	② 「子どもたちが安全に」「学校生活を送る」とは言うが、「安心に学校生活を送る」とは言わない。また、「安全」性とICT教育環境の向上との相関性、「主体的な学び」と施設整備の相関性が不明。「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議」の取りまとめ中の表現をそのまま用いて、「安全・安心な教育環境を確保しつつ、新しい時代の学びを実現していくため、長寿命化改修等を通じ、教育環境向上と老朽化対策の一体的な整備を積極的に推進します。」でよいのではないか。	教育総務課 教育指導課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■施策の主な方向性 (2)②教育環境の整備 子どもたちが安全・安心に学校生活等が送られ、主体的に学べるよう、ICTをはじめとした教育環境向上と施設の老朽化対策の一体的な整備等を進め、新しい時代の学びを実現でき、居心地の良い教育環境を充実します。	■施策の主な方向性 (2)②教育環境の整備 子どもたちにとって安全・安心で居心地の良い教育環境を確保しつつ、新しい時代の学びを実現していくため、ICTをはじめとした教育環境向上と老朽化対策の一体的な整備を推進します。
25	4	学校教育	市民や事業者ができることの主な取組イメージ		2点目 「協力」の具体的内容がないため、どのような協力が望まれているのか市民にわかりづらい。 3点目 改善提案は「施設」だけか。通学路の安全策や通学途上の児童生徒の行動なども考えられるのではないか。	教育指導課 教育総務課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■市民や事業者ができることの主な取組イメージ ・特別支援教育を理解し協力する。 ・学校施設における改善点等を提案する。	■市民や事業者ができることの主な取組イメージ ・インクルーシブ教育を視野に入れた特別支援教育を理解し、障がいの有無にかかわらず共に活動する機会を設ける。 ・学校施設や通学路、通学途上における児童生徒の行動に対する改善点等を提案する。
26	4	学校教育	市民や事業者ができることの主な取組イメージ		「学校施設における改善点を提案する」は、施策No.10通学路について記載があるが、ここにも通学路を追加すると、市民にとってわかりやすいイメージしやすいと考える。	教育総務課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■市民や事業者ができることの主な取組イメージ ・特別支援教育を理解し協力する。 ・学校施設における改善点等を提案する。	No.25と同じ
27	4	学校教育	市民や事業者ができることの主な取組イメージ		どの子に対しても積極的にではなく、「子どもたちと積極的に」とすべきではないか。	教育指導課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■市民や事業者ができることの主な取組イメージ ・保護者や地域住民は学校行事や地域行事等に参加し、どの子どもに対しても積極的に関わりを持つ。	■市民や事業者ができることの主な取組イメージ ・保護者や地域住民は学校行事や地域行事等に参加し、子どもたちと積極的に関わりを持つ。
28	4	学校教育	現状(取組成果)		1人1台端末でICT環境の整備を進めるとあるが、同時に学年に応じたネットリテラシー教育の取組について記載すべき。	教育指導課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■現状(取組成果) ・GIGAスクール構想により1人1台端末と高速通信ネットワーク等のICT環境の整備を進めています。	■現状(取組成果) ⑧GIGAスクール構想により1人1台端末と高速通信ネットワーク等のICT環境の整備、情報モラル教育を進めています。
29	4	学校教育	主な課題		学校風土の「見える化」を通じて、については、内容の質問に対して即答できなかった点、回答自体もよく分からない点から、担当課自身が本当に内容を理解しているか疑問であるし、現場の課題から必要なのか、課題解決の効果も疑問である。この文言は本当に必要なのか。	教育指導課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■主な課題 ・誰一人取り残されない学びの保障に向けて、多様な学びの場の確保、学校風土の「見える化」を通じて、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする、不登校対策を推進する必要があります。	■主な課題 ②③誰一人取り残されない学びの保障に向けて、多様な学びの場を設けることや不登校支援機関と連携することに加え、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする等、不登校対策を推進する必要があります。
30	4	学校教育	主な課題		・「誰一人取り残さない学びの保障に向けて、多様な学びの場の確保、学校風土の「見える化」を通じて、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする、不登校対策を推進する必要があります」との記載があるが、不登校対策については、フリースクール等との情報共有や連携が必要と考えることから追記すべきではないか。	教育指導課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■現状(取組成果) ・誰一人取り残されない学びの保障に向けて、多様な学びの場の確保、学校風土の「見える化」を通じて、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする、不登校対策を推進する必要があります。	No.29と同じ

No.	施策番号	基本的施策・経営的施策	該当項目	番号	意見	担当課	対応	意見に対する考え方	修正前	修正後
31	4	学校教育	全体		学校教育を進めていく上で「ヤングケアラー」の問題は避けて通ることは出来ない。しかし、このページの中に「ヤングケアラー」の文字が全く入っていないことに違和感を覚える。この施策の中に盛り込み、取組みを進めていただきたい。(質疑の中であったが、「施策6の地域福祉に文言を入れるか、施策3に入れるかどちらか」という問題でなく、どちらにも入れるべき)	教育指導課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	<p>■現状(取組成果) ・教育相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置して、十分な相談体制を整えるよう努めています。</p> <p>■主な課題 ・特別な支援を必要とする子どもたちが増加しており、よりきめ細かな対応が必要です。</p>	<p>■現状(取組成果) ③教育相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置して、不登校、いじめ、ヤングケアラー等に対する十分な相談体制を整えるよう努めています。</p> <p>■主な課題 ②③障がいや不登校、ヤングケアラー等多様なニーズを有する子どもたちが増加しており、よりきめ細かな対応が必要です。</p>
32	5	高齢者支援・障がい者支援	施策の主な方向性	(4)	① 権利擁護支援の本質は当事者の尊厳を守り、意思決定を支援することであって、金銭管理や福祉サービスの利用支援はそのための方法。本質の方こそ施策に記述すべきではないか。	福祉政策課 障がい福祉課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	<p>■施策の主な方向性 (4)①権利擁護に向けた取組の推進 高齢化や障がい等により、財産管理や地域生活に支障がある方の権利擁護支援に取り組みます。</p>	<p>■施策の主な方向性 (4)①権利擁護に向けた取組の推進 高齢者や障がい者等の尊厳を守るため、意思決定支援をはじめとする権利擁護支援に取り組みます。</p>
33	5	高齢者支援・障がい者支援	現状(取組成果)		2つ目の項、「コロナ禍を経験し、市、医療、介護の関係機関が…」と先頭に コロナという文言を入れると、総合計画がより市民・事業者にとって身近となり、自分事として受け取れると考える。	地域医療課	原案どおり	本施策はコロナ禍以前より取組を進めているものです。また、コロナ禍の経験については、本施策のみならず広範な施策に影響を与えているものと考え、本施策にのみ「コロナ禍」の枕詞を追記することは全体との整合性がとれないと考えているため原案のままとします。	-	-
34	5	高齢者支援・障がい者支援	主な課題		7点目 成年後見制度の利用促進の課題として「周知」が挙げられているが、成年後見人のなり手の確保策として市民後見人の育成も課題ではないか。	福祉政策課 障がい福祉課	原案どおり	後見人の成り手確保については、現在実施している報酬費用の助成や法人後見支援を継続していく予定であり、当面の課題としては、制度や権利擁護支援センターのさらなる周知、であると捉えているため、原案のままとします。	-	-
35	5	高齢者支援・障がい者支援	主な課題		・施策の主な方向性(3)の障がい者支援の充実の中に、「就労支援等に取り組みます。」と施策の主な方向性にはあるが、主な課題には記載がない。障害者の雇用促進等に関する法律にもあるように、働くことは生きがいや社会参画にもなる。また、国・地方公共団体の責務として国民(市民)の理解を高めることとあり追記すべきではないか。	障がい福祉課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	<p>■現状(取組成果) 記載なし</p> <p>■主な課題 記載なし</p>	<p>■現状(取組成果) ⑦市における職場体験受け入れ、就労支援施設等の授産品販路拡大支援や優先調達推進等により、多様な就労の場の確保を図っています。</p> <p>■主な課題 ⑦障がい者の活躍の場を更に広げるため、引き続き就労機会の創出等の支援が必要です。</p>
36	6	地域福祉	施策の主な方向性	(2)	① 「地域共生社会推進全国サミット」はイベント(事業)であり、計画の初年度には終わるものであるため事業調書に委ねるべき。「地域共生社会推進全国サミットの開催等を通じて」はなくても方向性はわかる。	福祉政策課 地域包括ケア推進課 地域共生サミット推進室	修正	ご意見をふまえ、右記のとおり修正します。	<p>■施策の主な方向性 (2)①支え合い活動の促進 地域共生社会推進全国サミットの開催等を通じて、地域における支え合いの機運を醸成し、～</p>	<p>■施策の主な方向性 (2)①支え合い活動の促進 地域における支え合いの機運を醸成し、～</p>
37	6	地域福祉	施策の主な方向性	(3)	① 「就労支援・居住支援・学習支援」は何のために実施するのかを施策欄には記述すべき。(「困難を抱える方の生活を安定させるため就労支援を行うとともに自立の前提になる住まいを確保することで生活の基盤を安定させ、また貧困家庭の子どもに対して学習支援を行うことで貧困の連鎖を断ち切ります。」など。)	生活支援課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	<p>■施策の主な方向性 (3)①暮らしを支える取組の推進 生活困窮者の生活を安定させるための就労支援、生活の基盤の確保のための住まいの確保、貧困の連鎖を断ち切るための子どもに対する学習支援等を行います。</p>	<p>■施策の主な方向性 (3)①暮らしを支える取組の推進 生活困窮者の生活を安定させるための就労支援、生活の基盤の確保のための住まいの確保、貧困の連鎖を断ち切るための子どもに対する学習支援等を行います。</p>
38	6	地域福祉	主な課題		7点目 「他機関や他部署との連携が必要」とあるが、うまく連携がとれていないのであれば、その原因を分析すべき。社会福祉協議会(くらしとしごと支援センターや権利擁護支援センター)とは対等な関係で、困難を抱える市民とともに支えるパートナーとしての関係を築けているか。	福祉政策課 生活支援課	原案どおり	ニーズの多様化、課題の複雑化や複合化に対応するため、連携体制を強化する必要があるという趣旨で、主な課題として挙げているものですので、原案のままとします。	-	-

No.	施策番号	基本的施策・経営的施策	該当項目	番号	意見	担当課	対応	意見に対する考え方	修正前	修正後
39	7	健康づくり	令和9年度末にめざす状態(施策目標)		「健康寿命が延伸している」は、対象が高齢者に特化し、身体に限られているので、全世代対象で、心身ともに当てはまるフレーズにすべき。健康とはどのような世代・どのような状況の人にとっても、身体的・精神的・社会的に良好な状況という視点から、well-being という表現をうまく用いることができればと考える。 なお、他の施策と書きぶりが違うことから、健康寿命が延伸した結果どうなったか「well-beingを実感する市民が増えている」など、アウトカムのような書きぶりにすべきではないか。	健康課 地域医療課 国保医療課 スポーツ振興課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■令和9年度末にめざす状態(施策目標) 健康寿命が延伸している	■令和9年度末にめざす状態(施策目標) 健康に関心を持つ人が増え、健康寿命が延伸している
40	7	健康づくり	令和9年度末にめざす状態(施策目標) その他		総合計画の基本構想、まちづくりの目標の(1)は安全で安心して健康に暮らせるまちであり、安全で安心して暮らしていくためには医療は欠かせない。コロナ禍を経験し、今年度策定される県の保健医療計画においても事業項目として「新興感染症発生・まん延時における医療」が追加されていることから、市としても、新興感染症の脅威に対する市立病院の役割を考えていく必要がある。 また、「健康づくり」とすると予防に重点を置いていて、医療には力を入れようとしていないように受け取れることから、施策名に医療を追加し、「健康づくり・医療」とすべき。	健康課 地域医療課 国保医療課 スポーツ振興課	原案どおり	施策名「健康づくり」には、医療提供体制も包含したものととして市民の健康という観点から設定していることから、原案のままとします。	-	-
41	7	健康づくり	施策の主な方向性	(2) ①	記載文の前に、「新興感染症発生・まん延時における医療を含めた安全で安心な医療の確保に努めるとともに」を入れるべきではないか。	地域医療課	原案どおり	ご意見の内容については、「救急応需率の向上及び受診しやすい環境」に包含されることから、原案のままとします。	-	-
42	7	健康づくり	市民や事業者ができることの主な取組イメージ		健康寿命の延伸についての市民の取組と医療費削減努力は別物である。	国保医療課	原案どおり	ジェネリック医薬品の利用や重複受診の見直し等による医療費削減に市民や事業者が取り組むことが、施策の主な方向性にある「安定的な医療保険制度の運営」に繋がり、これが市民の健康維持と健康寿命の延伸に繋がるものと考えているため、原案のままとします。	-	-
43	7	健康づくり	現状(取組成果)		コロナ対応で大きな役割を果たした生駒市立病院について追記すべき。	地域医療課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■現状(取組成果) 記載なし	■現状(取組成果) ⑨生駒市立病院は地域医療機関と連携し、新型コロナウイルス感染患者の積極的な受け入れに努めました。
44	7	健康づくり	主な課題		コロナ対応で大きな役割を果たした生駒市立病院について追記すべき。 最後の項を次のように修正することを提案します。コロナ下においては平時の救急医療体制では十分対応できなかったことから、生駒市立病院の救急医療提供体制の強化、輪番病院とバックアップに回る市立病院との連携強化等が課題である。	地域医療課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■主な課題 記載なし	■主な課題 ⑨コロナ下においては平時の救急医療体制では十分対応できなかったことから、地域の救急医療提供体制の強化、輪番病院とバックアップに回る生駒市立病院との連携強化等が課題です。
45	8	防災・減災・消防	令和9年度末にめざす状態(施策目標) 施策の主な方向性		災害は地震に限らず、また規模の大小に関係なく対処能力は求められる。 また、施策の主な方向性及び市民や事業者ができることの主な取組イメージに記載のある要配慮者の支援は風水害、土砂災害発生時に想定されており大規模地震発生時には「準じた対応」が想定されていることから、めざす状態(施策目標)の「大規模地震」は「災害」もしくは「大規模地震等」としてはどうか。	防災安全課 総務課(消防) 予防課 警防課 消防署	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■令和9年度末にめざす状態(施策目標) 大規模地震に対する対処能力の強化を図るとともに、市民(共助)、地域(共助)、行政(公助)が協働して防災・減災に取り組んでいる	■令和9年度末にめざす状態(施策目標) 市民(自助)・地域(共助)・行政(公助)が協働し、いのちと暮らしを守る取組が進んでいる

No.	施策番号	基本的施策・経営的施策	該当項目	番号	意見	担当課	対応	意見に対する考え方	修正前	修正後
46	9	産業・雇用就労(1)	主な課題	(3) ①	受入れ環境の整備、に対する施策が記述されていない。来訪者誘因が市民の発信に依存しているが、市として、広域的連携も含め何をするかがない。	商工観光課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	<p>■施策の主な方向性 (3)①マイクロツーリズムの推進と受入環境の整備 身近な風景や文化、魅力あるお店等「まちの魅力」を体験する機会を創出するマイクロツーリズム※を推進することで、市民が「住んで楽しい身近な観光価値」に気付き、その価値の発信を通じて国内外からの来訪者を誘引し、地域経済の活性化に繋げる観光振興を進めます。</p>	<p>■施策の主な方向性 (3)①市民活動や市内事業者の取組を観光資源として活用した受入環境の整備 地域経済の活性化に繋がる観光振興を進めるため、既存の観光資源に加え市民活動や市内事業者の取組を観光資源として活用するとともに、それ自体を「住んで楽しい身近な観光価値」であることを認識し、その価値を本市、観光協会、観光事業者及び市民自らが発信することで、国内外からの来訪者を誘引します。多言語対応や市内周遊を促進する交通手段の増設等による受入環境の整備を行います。 (3)②マイクロツーリズムの推進 近隣地域からの来訪を促進するため、都市近郊の身近な風景・自然や文化、魅力あるお店等の「まちの魅力」を感じ、体験する機会を創出するマイクロツーリズムを推進します。</p>
47	9	産業・雇用就労(1)	市民や事業者ができることの主な取組イメージ		「変革と挑戦」が取組を指すのか、強調なのか分からないので、具体的な表現に変更すべき。	商工観光課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	<p>■市民や事業者ができることの主な取組イメージ ・事業者は経営の「変革と挑戦」により事業の成長と発展を図り、地域の経済活性化の主体となるよう努める。</p>	<p>■市民や事業者ができることの主な取組イメージ ・新分野への展開や経営改善等の経営の「変革と挑戦」により事業の成長と発展を図り、地域の経済活性化の主体となるよう努める。</p>
48	9	産業・雇用就労(1)	主な課題		宿泊施設を増やす取り組みが必要です、とあるが、そのための課題が何か不明である。主な課題の「必要です」を実現するための課題が明確になっていないと、解決策も見えず、願望に終わる。	商工観光課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	<p>■主な課題 ・観光客の市内滞在時間を延ばし市内消費を促すため、宿泊施設を増やす取り組みが必要です。</p>	<p>■主な課題 ⑤宿泊施設が少ないため、宿泊施設が多い地域と比べると、観光客の本市滞在時間は短く、消費額も少ないことから、宿泊施設を増やす取組の検討が必要です。</p>
49	9	産業・雇用就労(2)	施策の主な方向性	(1) ②	「活用農地の確保として、農地の集約集積化を図ることにより」とあるが、生駒の農地の実情から可能なのか、効果的なのか疑問である。大規模化を目指すのか、高付加価値の少量多品種をベースにした販路の開拓や6次産業化を目指すのか、主たる方向性が問われるが、大規模化は疑問である。可能な範囲で行うのは良いが。	農林課	原案どおり	農地の集約集積化については、農地の大規模化を指すのではなく、農地を担い手に集積することを意味していることから、原案のままとします。		
50	9	産業・雇用就労(2)	施策の主な方向性	(4) ②	農業就労人口の減少や高齢化が進む農業分野においての新たな働き手の確保として、障がい者やフリースクール生等を考えているようだが、そのためには障がい者団体や関係団体等との情報交換や連携が必要である。(4)②のタイトルを「農福連携等の促進」に変更するとともに、「営農者の人手不足ニーズの把握に際し」を「営農者の人手不足解消に向け、農家やフリースクール生等の関係団体との連携を図り、」に変更すべき。	農林課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	<p>■施策の主な方向性 (4)②農福連携等の促進 福祉事業者の農地利用拡大を図ります。営農者の人手不足ニーズの把握に際し、障がい者やフリースクール生等の農家の受入意向を含めます。</p>	<p>■施策の主な方向性 (4)②農福連携等の促進 福祉事業者の農地利用拡大を図ります。営農者の人手不足解消に向けて、障がい者やフリースクール生等の就農につながるよう、関係団体との連携を促進します。</p>
51	9	産業・雇用就労(2)	市民や事業者ができることの主な取組イメージ		市民や事業者ができることの主なイメージに、幅広い事業者が農地が活用できることを追記すべきではないか。	農林課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	<p>■市民や事業者ができることの主な取組イメージ ・福祉事業者は、農地を利用した福祉活動を推進する。</p>	<p>■市民や事業者ができることの主な取組イメージ ・福祉事業者をはじめ幅広い事業者が、農地を利用した活動を推進する。</p>
52	9	産業・雇用就労(2)	現状(取組成果)		1行目2行目 取組んだ結果、このような成果がある、このような現状であるという書きぶりにすべきではないか。このままでも現状は現状であるが、読み方では課題としても読み取れる。	農林課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	<p>■現状(取組成果) ・～遊休農地(耕作放棄地)が増加しつつあり、農地面積が年々減少傾向にあります。</p>	<p>■現状(取組成果) ①～遊休農地(耕作放棄地)が増加しつつあり、耕作地が年々減少傾向にあることから、新規就農者支援や鳥獣被害防止対策に取り組んでいます。</p>
53	9	産業・雇用就労(2)	現状		グラフに表れている、令和3年から4年に、耕作農地面積が増加していることの分析を行い、施策の主な方向性に反映すべきである。	農林課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	<p>■現状(取組成果) グラフのR4の数値 農地面積:618ha 耕作放棄地:128ha</p>	<p>■現状(取組成果) グラフのR4の数値 農地面積:620ha 耕作放棄地:153ha</p>
54	9	産業・雇用就労(2)	主な課題		3点目「大型の農機具の困難な農地が多く存在します。」は現状。そこからどういう課題があり、事業の展開が必要であるかまでを記述すべき。	農林課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	<p>■主な課題 ・～生駒市は山間部にも農地が多いことから、大型の農機具の使用が困難な農地が多く存在します。</p>	<p>■主な課題 ①～生駒市は山間部にも農地が多く、進入路が狭くて大型の農機具の使用が困難なことから、農地の活用に向けた環境整備が必要です。</p>

No.	施策番号	基本的施策・経営的施策	該当項目	番号	意見	担当課	対応	意見に対する考え方	修正前	修正後
55	10	生活環境	施策の主な方向性	(2) ②	認知症の人や障がい者等判断能力が不十分な方々を消費者被害から守るには地域の見守りよりも成年後見制度の利用が有効。「消費生活センターと福祉部局との連携で成年後見制度の利用を促し、消費者被害から守る。」という記述を検討されたい。	防災安全課 消費生活センター	原案ど おり	成年後見制度について、消費者被害から守るために非常に有効であると認識していますが、成年後見制度を利用するためには、様々な手続きや費用が発生することもあり、消費生活センターが成年後見制度の利用を促すことはしません。相談を受けた際、必要であると思われた場合には、成年後見制度の紹介や、令和5年10月に福祉部局と連携を図り設置した消費者安全確保地域協議会を活用し、必要な部門へ繋がります。また、消費生活センターとしては、協議会の構成機関が消費生活上特に配慮を要する消費者を見守り、異変に気づいた際に迅速に通報する事により、実効的な未然防止を図りたいと考えています。	-	-
56	10	生活環境	施策の主な方向性	(2) ②	学校における消費者教育を明記すべきである。	防災安全課 消費生活センター	原案ど おり	学習指導要領に消費者被害について学ぶ単元が明記されているため、原案のままとします。	-	-
57	11	脱炭素・循環型社会	施策の主な方向性	(1) ①	地域コミュニティの活性化が各家庭の消費エネルギーの削減につながるという効果をどう見込んでいるのか。脱炭素先行地域の採択を受けての事業内容の記述と思われるが、施策欄に記すべきことは「住宅都市の脱炭素化に向けて、再生可能エネルギーの地産地消を図るとともに、市民に省エネ意識と環境にやさしいライフスタイルの行動変容を促します。」だけでいいのではないかと。	SDGs推進課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。市民の行動変容を促進し、市域の脱炭素化を実現させるための施策の方向性として、脱炭素を実現する地域コミュニティの実現・波及という事業モデルの確立が重要と考えています。環境にやさしいライフスタイルへの行動変容を図る旨については明記します。	■施策の主な方向性 (1)①住宅都市を脱炭素化する事業モデルの確立・波及 ～地域コミュニティの活性化を通じて各家庭の消費エネルギーを削減するとともに、環境にやさしいライフスタイルへの行動変容を図り、効果的に再生可能エネルギーを普及する等、住宅都市の脱炭素化を実現する事業モデルを確立し、市域への波及を図ります。	■施策の主な方向性 (1)①住宅都市を脱炭素化する事業モデルの確立・波及 ～地域コミュニティの活性化を通じた脱炭素化を推進します。市民及び関連企業・団体との連携を図りながら、環境・社会・経済が好循環する、住宅都市の脱炭素化事業モデルとして確立し、市域への波及を図ります。
58	11	脱炭素・循環型社会	施策の主な方向性	(1)	いこま市民パワー(株)がメインになっているように読み取れるので、審議会の意見のように、他主体も参画・協働するような内容にすべきである。	SDGs推進課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■施策の主な方向性 (1)①住宅都市を脱炭素化する事業モデルの確立・波及 ～地域コミュニティの活性化を通じて各家庭の消費エネルギーを削減するとともに、環境にやさしいライフスタイルへの行動変容を図り、効果的に再生可能エネルギーを普及する等、住宅都市の脱炭素化を実現する事業モデルを確立し、市域への波及を図ります。	No.57と同じ
59	11	脱炭素・循環型社会	施策の主な方向性	(1) ②	①の内容と重複している。公用車のEV、HEMSの導入等は具体的な手段に過ぎないので、事業調書に譲り、①とまとめてしまったほうがよい。	SDGs推進課	原案ど おり	(1)①は、主として既存住宅地を対象とする事業モデルの確立を内容としており、(1)②では、広く市域全体の脱炭素化に向けた再エネ・省エネに係る設備導入等を内容としていることから、原案のままとします。	-	-
60	11	脱炭素・循環型社会	施策の主な方向性	(1) ①②	いこま市民パワー(株)を核にする必要性とそれだけのパワーがあるか疑問である。先ず何をすべきかがあり、それがいこま市民パワー(株)がどう関与するか、という問題ではないか。循環型社会と言うのであれば、食品ロス・食品廃棄物、特に業務関係での排出物の農業を通じての生産・循環を目指すべきである。	SDGs推進課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。本市では、生駒市環境基本計画、環境モデル都市アクションプラン等の関連計画に基づき、エネルギーの地産地消を推進するしくみとしていこま市民パワーを設立したところであり、同社を核とする取組を推進したいと考えています。循環型社会との関連については、審議会の意見も踏まえ、(1)①に「環境・社会・経済の好循環」の記載を追記します。	■施策の主な方向性 (1)①住宅都市を脱炭素化する事業モデルの確立・波及 ～地域コミュニティの活性化を通じて各家庭の消費エネルギーを削減するとともに、環境にやさしいライフスタイルへの行動変容を図り、効果的に再生可能エネルギーを普及する等、住宅都市の脱炭素化を実現する事業モデルを確立し、市域への波及を図ります。	No.57と同じ

No.	施策番号	基本的施策・経営的施策	該当項目	番号	意見	担当課	対応	意見に対する考え方	修正前	修正後
61	11	脱炭素・循環型社会	施策の主な方向性	(1) ③	「新たに創設された」について、現在は「新た」かもしれないが、計画終了年度には「新たに」とは言えなくなっているのでは、削除していいのではないか。ここも①と重複しており、①とまとめたほうがよい。	建築課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。 ②と③を統合し、記載します。	■施策の主な方向性 (1)住宅都市における脱炭素化の実現 ②再エネ・省エネの普及促進 ③住宅の省エネ化に向けた取組推進	■施策の主な方向性 (1)住宅都市における脱炭素化の実現 ②再エネ・省エネの普及促進 ③住宅の省エネ化に向けた取組推進 再生可能エネルギー発電設備及び蓄電池の更なる普及を図ります。公用車の電気自動車への移行や、HEMS等の導入によるエネルギー使用の見える化・効率化を推進します。省エネ住宅の新築、住宅の省エネリフォームを支援する国による多種多様な支援制度への誘導や国の動向に応じた本市支援策の見直し等、住宅の省エネ化に向けて引き続き普及・啓発を図ります。
62	11	脱炭素・循環型社会	施策の主な方向性	(2) ②	「ごみを排出しやすい環境整備を進める」はごみの発生を推奨しているように受け取れるので表現を改めるべき。 ごみの出しやすさでいえば、地域コミュニティよりも家の前や集積所の方が便利なのではないか。	環境保全課	修正	ご意見をふまえ、右記のとおり修正します。	■施策の主な方向性 (2)②環境負荷の小さいごみ処理の推進 ～生ごみや剪定枝といったバイオマスの資源化の推進や、地域コミュニティを活用し、ごみを排出しやすい環境整備を進めます。	■施策の主な方向性 (2)②環境負荷の小さいごみ処理の推進 ～生ごみや剪定枝といったバイオマスの資源化の推進や、循環型社会の形成につながる取組を地域コミュニティとの協働により実施します。
63	12	まちの空間づくり	施策の主な方向性	1 ①	生駒駅周辺はどの程度生駒の玄関口か。鉄道による来訪者にとって、である上、生駒駅を通過してその先で降りて観光地等への来訪者も多い(高山の玄関口は学研北生駒駅である)ことを考えると、地域住民にとっての価値を重視した方が良いのではないか。また、玄関口と言うには来訪者にとっての情報提供が貧弱である。生駒駅南は、いっそ「生駒のシモキタ」として人が集まる場の提供という観点で考えてはどうか。	拠点形成課	原案どおり	生駒駅周辺地域は本市の都市拠点であり、都市全体に魅力と活力をもたらす中核となる場所として位置付け、地域住民のみならず、来街者も積極的にまちに関わる場の創出をめざしています。 また、公民連携により策定しためざす将来像“生駒駅南口みらいビジョン”に基づき、情報発信及び、誰もが気軽にまちに関われることを目的として、南口を起点にプロモーション活動も進めていることから原案のままとします。	-	-
64	12	まちの空間づくり	施策の主な方向性	(1) ①	施策の主な方向性には地域拠点の記述はないが、他の部分で触れていることから、近鉄南生駒駅周辺や北生駒駅周辺の取組み等を記載すべき。	拠点形成課	原案どおり	本項目については、都市拠点に関する項目で、近鉄南生駒駅周辺や北生駒駅周辺は地域拠点であり、計画期間内には空間づくりまで進捗しないことが見込まれることから、原案のままとします。	-	-
65	12	まちの空間づくり	施策の主な方向性	(3) ①	「地域特性に応じた公共交通網の形成を図るため、地域主体の取組を進めます」とあるが、行政が主体となる取組についても記述すべきではないか。	事業計画課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■施策の主な方向性 (3)①持続可能で利便性が高い公共交通網の形成 まちづくりとの連携や市民・事業者との協働により、公共交通サービスの充実を図り、市民の活動機会を保障します。地域特性に応じた公共交通網の形成を図るため、地域主体の取組を進めます。	■施策の主な方向性 (4)①既存交通手段の充実と多様な移動手段の組合せによる利便性の向上 まちづくりとの連携や市民・事業者との協働により、公共交通サービスの充実を進め、地域特性に応じた公共交通網の形成を図ることで、市民の活動機会を保障します。公共交通の利用促進に向け、地域主体の取組を進めます。
66	II	市民協働・公民連携	現状(取組成果)		1点目 市政への参画機会の拡大を測る指標は、参画機会の拡大に取り組んでいるのに、「主な課題」で参画機会の環境づくりが必要であるとは、どういうことか。現状の取組の分析が不明。	地域コミュニティ推進課	原案どおり	参画機会に取り組んでいますが、いわゆる市政への無関心層や多忙により市政参画ができない層もいると考えています。そのような対象の存在を踏まえ、参画の門戸を広げ、より参画しやすい、または、したくなるような環境づくりが必要であると考えています。	-	-

No.	施策番号	基本的施策・経営的施策	該当項目	番号	意見	担当課	対応	意見に対する考え方	修正前	修正後
67	III	広報広聴・シティプロモーション	令和9年度末にめざす状態(施策目標)		「共感」が何を指すのか、何に対する共感なのか分かりにくいので、具体的な表現にすべき。なお、具体的な表現がない場合、「共感」については、削除すべき。	広報広聴課 関係課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	■令和9年度末にめざす状態(施策目標) まちへの愛着・共感が広がり、地域を推奨する意欲や地域のために行動する意欲が増えている	■令和9年度末にめざす状態(施策目標) まちへの愛着・まちづくりへの共感が広がり、地域に関わろうとする意欲が増えている
68	III	広報広聴・シティプロモーション	施策の主な方向性	(3)	創出・発信する生駒の魅力が何か不明確である。	広報広聴課 関係課	原案どおり	愛着や共感につながるモノやコトなどの資源を想定していますが、魅力は多面的であり時勢によって変化するため、原案のままとします。	-	-
69	III	広報広聴・シティプロモーション	施策の主な方向性	(4)	市域への来訪者誘引とあるが、シティプロモーションによる転入者増はあきらめたのか。また、「イメージの向上」を意識しすぎると手段が目的化され虚像を伝えることにもなりかねない。	企画政策課 関係課	修正	総合指標の一つとして、純移動数を掲げており、市として転入者の増加をめざす方向性に変わりはありません。来訪者が地域イメージの向上や関係性構築につながり、参画や居住につながる可能性もあることから現状と課題の部分を右記のとおり追記します。現状と主な課題については、右記のとおり修正します。	■現状(取組成果) 記載なし ■主な課題 ・大阪都心部や奈良市からのアクセスの良さを活かし、市外からの来訪者を誘引するプロモーションが必要です。	■現状(取組成果) ④生駒山や宝山寺、茶釜といった観光資源を活かし、市外からの認知獲得や来訪者増加につなげています。 ■主な課題 ④観光資源だけでなく、日常生活を豊かにする活動を知ってもらい、来訪意欲や居住・参画意欲につなげることが必要です。
70	III	広報広聴・シティプロモーション	現状(取組成果)		「行政・地域・市民相互のより良い関係づくり」広聴に関しての取組及びその成果はないのか。	広報広聴課 関係課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり現状(取組成果)を追記します。	■現状(取組) 記載なし	■現状(取組成果) ②パブリックコメント、住民説明会、市長懇談会やティーミーティング、ワークショップ、アンケート等により市民の意向を把握し、市政への反映に努めています。
71	III	広報広聴・シティプロモーション	主な課題		シティプロモーションは手段であるのに目的化され、イメージが先行して中身が追いついていないのが課題ではないのか。各施策と戦略的施策の評価をどうするのか。	広報広聴課 企画政策課	原案どおり	シティプロモーションは「地域に関わろうとする意欲を持つ人を増やす」ことを目的に実施しています。イメージではなく、実在する暮らしや活動を発信しているため原案のままとします。また、各施策と戦略的施策の評価については、アクションプラン策定時に戦略的施策に該当する事業を紐づけ、取組状況を毎年度進行管理していくことを予定しています。	-	-
72	III	広報広聴・シティプロモーション	主な課題		市民協働・公民連携の主な課題「市政への関心を高めるために、市民の参画の機会等の環境づくりが必要です。」という部分を読むと、この意見は市民協働・公民連携に含むべきことになるのかも知れないが、それとも全体に関わることになるのかもしれないが「子どもまんなか社会」を実現するための施策が第2期基本計画各論(案)に見当たらない。子どもや若者の最善の利益を第一に考え、本市においても令和5年4月に施行された「子ども基本法」を基にして、子どもに関する取組・政策を社会の真ん中に据える「子どもまんなか社会」の実現に向けての取組を促進していくと考えることから、子ども・若者の声を聴き、反映し、子どもや若者の視点に立った政策を実現することや、本市の様々な計画に意見を反映していくことについては、子どもまんなか社会の実現のために重要な施策として、第2期基本計画各論(案)の中に、施策として掲載しておくべき。	広報広聴課	原案どおり	本論における広聴活動においては、特定の世代・年代を対象を絞っていないことから原案のままとします。	-	-

No.	施策番号	基本的施策・経営的施策	該当項目	番号	意見	担当課	対応	意見に対する考え方	修正前	修正後
73	IV	行政経営	施策の主な方向性	(2) ②	すべての施策のベースになる税務について記述すべき。	課税課 収税課 企画政策課	修正	ご意見のとおり、右記のとおり修正します。	<p>■現状(取組成果) 記載なし</p> <p>■主な課題 記載なし</p> <p>■施策の方向性 (1)持続可能な財政の運営 社会経済情勢の変化や住民ニーズに柔軟に対応しつつ、持続可能な財政運営を維持します。</p>	<p>■現状(取組成果) ③納期内納付の推進と徴収率の向上に向けて取り組んでいます。</p> <p>■主な課題 ③納付環境の整備や適正な滞納処分により、納期内納付を推進する必要があります。</p> <p>■施策の方向性 (1)持続可能な財政の運営 収入の確保や行政改革の推進に継続的に取り組むことによって、社会経済情勢の変化や住民ニーズに柔軟に対応できる持続可能な財政運営を維持します。</p>
74			全体		関連する現状(取組成果)と主な課題に共通の番号を付け、関連がわかりやすくとともに、施策の主な方向性についても、どの現状(取組成果)と主な課題に関連するかわかるようにしていただきたい。	企画政策課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	-	現状(取組成果)と主な課題の冒頭に番号を付け、突合できるように修正しました。なお、施策の主な方向性については、現状や課題が複数にまたがるものもあることから、原案どおりとします。
75			全体		施策の主な方向性ごとに担当課の表記がある方が市民の方にも分かりやすい。	企画政策課	原案どおり	担当課表記については、策定後に組織改編によって、組織名称等が変更となるおそれがあることから、原案のままとします。	-	-
76			全体		<p>自治組織である自治会や市民自治協議会の活動の主体は地域住民であり、行政が「つくる」ものでも活動を「促す」ものでも「図る」ものでもなく、施策の方向性(1)①の表現は「自ら学び」「取り組む」という「めざす状態」と合っていない。また、「まちのえき」は正式な名称ではない上、施策に基づく事業であるため次のような記述にすべき。</p> <p>施策1 市民自治活動・学び めざす状態 自ら学び、地域活動や市民活動に取り組む市民が増えている</p> <p>施策の主な方向性 (1)持続可能な身近なコミュニティを支える ①地域コミュニティの活性化 自治会や市民自治協議会などの地域ごとの特性を活かした身近なコミュニティが持続的に発展するよう、コミュニティの活動を支えます。</p> <p>施策No.2 市民や事業者ができることの主な取組イメージの2点目において、地域住民と外国人住民の交流の場合は「まちのえき」に限定されるべきものではないので、「まちのえきを活用した」は不要。 参考資料の指標Ⅱも、「まちのえき」を実施する自治会自体が限定的なので、市全体の取組みになりえず、不相当である。</p> <p>施策No.11 施策の主な方向性 「まちのえき」は事業名なのか愛称なのか拠点なのか、計画内で統一されていない。</p>	地域コミュニティ推進課 人権施策課 SDGs推進課	修正	<p>■「コミュニティづくり」については、自発的な活動を支援し形成する意図であるため「づくり」という形で記載していることから、原案どおりとします。</p> <p>また、行政が自治会活動の活性化や「まちのえき」づくりの支援等を行うことで、市民のまちづくりに参画するきっかけを提供し、その結果、市民が自ら学びを深めたり、自発的に地域活動をする市民が増えることを目指していますが、ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。</p> <p>■施策No.2 ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。</p> <p>■施策No.11 ご意見を踏まえ、複合型コミュニティ(愛称:まちのえき)にとおり修正します。</p>	<p>■施策1 市民自治活動・学び 施策の主な方向性 (1)持続可能な身近なコミュニティづくり ①自治会活動の活性化 地域ごとの特性を活かした身近なコミュニティづくりに向け、自治会でも賑わいや活動を促し、対話を重ね、自治会活動の活性化を図ります。「まちのえき」や市民自治協議会を継続発展させ、安心と活力ある地域コミュニティづくりに取り組みます。</p> <p>■施策No.2 【市民や事業者ができることの主な取組イメージ】 ・「まちのえき」を活用した地域住民と～ 【指標】 「まちのえき」での国際交流取り組み自治会数 0自治会 → 3自治会</p> <p>■施策No.11 ～自治会集会所等を地域住民の交流拠点とするまちのえきを組み合わせ、～</p>	
77			全体		市民と住民の記載が混在しており、総合計画には、市民が相応しいと考えることから、市民へ統一すべき。	企画政策課 関係課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	-	文言の定義上、「住民」とすべきものを除き、「市民」で表記を統一しました。
78			全体		市民や事業者ができることの取組イメージの主語がないものがあり、対象者がわかりにくいことから、主語を記載すべき。	企画政策課 関係課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	-	誰が取り組むものなのか、文末に取組主体を追記しました。
79			全体		令和9年度末にめざす状態(施策目標)に使用されている「実感できている」という表現は、抽象的であることからより具体的な表現にすべきではないか。 施策No.2 人権・多文化共生では、「実感できている人が増えている」とし、施策No.10 生活環境では、「より良好に整ってきている」とすべき。	企画政策課 関係課	修正	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	-	めざす状態については、まちや社会の状態を表す表現となるよう全施策の表現を修正しました。